

自然災害への心構え ～世界各国の高校生が北海道で学ぶ～

9月6日～11日、『世界津波の日』2019 高校生サミット in 北海道」が札幌・奥尻島などで開催され、洞爺湖有珠山ジオパークにも世界 16 か国 96 人の高校生が研修に訪れました。

「世界津波の日」高校生サミットとは、世界中の高校生が自然災害とその対応について学び、将来の地域づくりの土台にしてもらおうと設立された

国際会議です。

火山の噴火をはじめ、津波や地震、土砂災害、海水面の上昇など、国によって抱える自然災害はさまざまですが、参加した高校生たちは有珠山噴火などの噴火災害からの復興について熱心に学び、壮瞥町では果物狩りで大地の実りを味わうなど充実した 2 日間を過ごしました。

世界地図で探してみよう！



【参加者の出身国】

米国、イタリア、カナダ、クック諸島、サモア、タイ、中国、ドイツ、ニウエ、ニュージーランド、バヌアツ、ブラジル、フランス、ペルー、ミクロネシア、メキシコ（計 16 か国）



講演会のお知らせ

『有珠山～最新の研究成果と火山活動の現状』

2000 年（平成 12 年）の有珠山噴火から、もうすぐ 20 年になります。現在、有珠山とその周辺には、さまざまな観測機器が設置され、観測が継続されています。

今回、北海道内で火山研究に携わる人たちが集まる「火山勉強会」で、公開講演会が開催されることになりました。最新の研究成果や、観測データに基づいた有珠山の現状についての研究発表が行われます。

次の噴火に向けての備えを進めるきっかけとして、皆さんの参加をお待ちしています。

- 日 時 10 月 26 日（土）17：00～18：30
- 場 所 洞爺湖町役場 3 階防災研修ホール
- 発表者 室蘭工業大学准教授 後藤芳彦氏 他
- 主 催 北海道火山勉強会
- 入場料 無料・申し込み不要
- 問合せ 北海道火山勉強会事務局
北海道大学大学院理学研究院内松本（☎ 011-706-3585）

